

講演
主旨

つながちから。山形大学

共有・共創・共生による持続可能な幸福社会の実現

山形大学では、3つの使命「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を発信するため、国内外の多方面で活躍されている方を講師に迎え、学長主催による特別講演会を開催しています。

今回は、2021年に琉球大学で女性初の工学部教授に就任され、また、H2L株式会社を創業し、経営者として、また、テレビのコメンテーターとしても多方面で活躍されている玉城 絵美氏を講師として迎え、学長特別講演会を開催いたします。玉城氏が発明し、世界中から注目されている重さや抵抗感など多様な感覚を他者やロボットと共有する技術であるBodySharingに関して、「BodySharing、体験共有の未来」と題しご講演いただきます。



山形大学 学長
玉手 英利
TAMATE Hidetoshi

BodySharing, 体験共有の未来

講師

H2L 株式会社 代表取締役 / 琉球大学工学部 教授 /
東京大学大学院工学系研究科 教授

玉城 絵美 氏

TAMAKI Emi

人間とコンピュータの間の情報交換を促進することによって、豊かな身体経験を共有するBodySharingとHCI*研究とその普及を目指す研究者兼起業家。2011年に手の動作を制御する装置 PossessedHandを発表し、Time 誌が選ぶ50の発明に選出される、2012年にH2L,Inc.を創業し、UnlimitedHand、FirstVRなどの製品を発表し、サービスへと展開。2020年国際会議 AugmentedHumanにて、近年で最も推奨される研究論文として表彰。

*HCI: Human-Computer Interaction

講演
内容

BodySharingとは、「身体に付随する感覚を相互に共有し、体験を複数人で共有する技術」です。これには人、ロボット、バーチャルの身体も含まれます。

BodySharingではセンシングとアクチュエーションによって位置覚、抵抗覚や重量覚などの固有感覚を伝達します、私たちは光学式筋変位センサを開発し、機械学習で「力の入れ具合」を推定することに成功しました。この技術は、スポーツ、医療、遠隔観光、遠隔教育などの体験共有に応用されています。今回は、応用事例の他、研究成果のビジネス導入時の障壁と突破口についても紹介します。

日時

2025. 5. 23 金 16:00~17:30

場所

伝国の杜
置賜文化ホール

開催
形式

対面及びオンライン

※録画配信はございません。

参加費無料

申込方法

QRコードから
お申し込みください。

申込者には、本講演会参加に必要な情報を
開催日前日までにメールでお知らせします。



山形大学
Yamagata University

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

山形大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています